



次年度のキャリア教育・進路指導を計画するヒント ～民間企業が提供するキャリア教育プログラム～

今号では、次年度のキャリア教育・進路指導の年間計画等を作成する際の参考として、企業や経済団体による教育支援の取組を表彰する経済産業省の「キャリア教育アワード」を受賞した**民間企業が提供するキャリア教育プログラム**を紹介します。民間企業やNPO法人などの多様な知見を取り入れながら、キャリア教育・進路指導の充実に生かしてみてもはいかがでしょうか。

私の行き方発見プログラム ～パナソニック ホールディングス株式会社～

無償

生徒が、多種多様な役割を持って働くことを学び、自分らしい「行き方」を考えるきっかけとなるよう、プログラムは「教材提供」と「出前授業」で構成され、職場体験学習の事前学習やまともに活用できます。

プログラムの特徴

ポイント1

生徒の主体的な進路選択を支援するプログラムで、職場体験学習の事前学習やまとめとして最適です。

ポイント2

学校のご要望に合わせて「教材提供」と「出前授業」の自由な組み合わせが可能です。※昨年度は全国約250校が活用。

ポイント3

教師用ガイド、授業スライド、生徒用ワークシートなどの教材は、簡単にダウンロードしてご利用いただけます。

ポイント4

パナソニック社員による出前授業(50分)は、クイズ、ミニワークショップを取り入れたアクティブな授業です。

- 教材① 「どのような役割の人が会社を支えているのだろうか？」
 教材② 「仕事をするために必要な能力とは何だろうか？」
 教材③ 「職場体験先の会社の社会的役割や仕事と能力の関係は？」
 教材④ 「自分の価値観を発見しよう」

問合せ先：「私の行き方発見プログラム」運営事務局（株式会社プラスエム内）
 電話番号：03-5541-7080 メール：panasonic-education@plus-m.co.jp

未来の自分に向けて今やるべきこと
私の行き方発見プログラム 無償提供
 主体的な進路選択を支援する2つのプログラム！ 対象：中学生



詳細はこちら

“届けよう、服のチカラ” プロジェクト ～株式会社ファーストリテイリング～

無償

ファーストリテイリングがUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）とともに取り組む、小中高校生が対象の参加型の学習プログラムです。社員による出張授業を受けたのち、児童生徒が主体となって、校内や地域で着なくなった子ども服を回収します。回収した服は、難民などの服を必要とする人々に届けられます。

【活動の目的】

- ・児童生徒が身近な「服」を通じて難民問題や環境問題に関心を持つきっかけを作る。
- ・「自分にもできる社会貢献がある」と気付き、自ら行動する機会を提供する。
- ・服の回収の呼び掛け等を通じて地域社会とつながる機会を提供する。

応募期限 令和5年4月19日（水）

活動内容・流れ

- | | |
|--------------|----------------|
| ①授業（6～8月） | 「服のチカラ」について学ぶ |
| ②呼びかけ（授業後） | 校内・地域へ協力を呼び掛ける |
| ③回収・発送（～11月） | 服を回収し、倉庫へ発送する |
| ④報告（1月） | 服の寄贈レポートが届く |

問合せ先：“届けよう、服のチカラ”プロジェクト事務局
 電話番号：03-5565-6551 メール：fukunochikara@fastretailing.com



詳細はこちら

地域や学校の実態に応じて、民間企業やNPO法人等と連携したキャリア教育の取組が県内においても展開されています。この他にも、県内外の民間企業やNPO法人が提供する無償・有償のキャリア教育プログラムがありますので、次年度の計画を見直す際の参考とさせていただきます。